

# 総合患者支援センターニュース

〒700-8558  
岡山市鹿田町2丁目5番1号  
岡山大学医学部・歯学部附属病院  
総合患者支援センター  
☎ 086-223-7151 (代表)  
☎ 086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning  
Okayama University Hospital



## 携帯電話を使った遠隔医療システム

副センター長 岡田 宏基

皆様は遠隔医療という言葉聞いたことがあるでしょうか。例えばテレビ電話や、パソコンに搭載したテレビ会議システムなどを通じて遠隔地にいる患者さまと対話して、診療の補助にしようとするものです。私たちは、この中でも携帯電話のテレビ電話機能に注目し、これを遠隔医療に使えないかと保健学科と共同して検討を重ねて来ました。携帯電話の良いところは、「顔」対「顔」の対話だけでなく、例えば寝たきりになっている患者さまの褥瘡を映して医師や看護師に対応の仕方を相談したり、自宅で使っている人工呼吸器などの医療機器を映して、操作方法を確認したりできることです。

携帯電話—携帯電話では画面が小さく、細かな部分は確認しづらいのですが、私たちは、岡山県の協力を得て、携帯電話からの映像を県の保有する変換装置を通じて岡山情報ハイウェイに乗せ、大学内のネットワークに接続したパソコン上のテレビ会議システムで映像を見るシステムを実用化させています。このようにすることで、大学側では



複数の医療スタッフが同時に大きな画面で携帯電話からの映像を見ることができ、また、必要に応じて大学内の複数のテレビ会議システムで同じ映像を見ながら相談に応じることが可能です。この様子はNHK教育テレビの「サイエンス ZERO」でも紹介されました。またこのたび、総務省の研究資金を得ることができ、研究の発展に期待が寄せられています。



今後は岡山市内の訪問看護ステーションや県内の山間部の診療所にテレビ会議システムを設置して、それぞれの活動に携帯電話の映像機能を利用いただき、同時に大学病院との交信も行いながら、このシステムへの理解とその普及に努めると共に、遠隔医療に用いるためには携帯電話にさらにどのような機能が必要かを検討して行きたいと考えています。

## 患者様のご意見にはこのように対応しています

岡山大学医学部・歯学部附属病院では外来ホール、各病棟に合計24箇所に「ご意見箱」を設置しています。患者様やご家族の方が、病院や職員に対して日頃思っておられる事やご提案等を投書という方法でお聞かせいただいております。

「ご意見箱」にいただきましたご意見は、関係する診療科や部署等に照会して対応等を検討しております。検討結果は病院長の確認（決裁）を得て、院内掲示や病院ホームページに掲載すると共に、特に患者様へ直接ご返事を必要とするご意見については、郵送にて対応しております。

患者様から頂きました「ご意見」は、業務の改善や医療サービスの改善に利用させていただいております。

### 「ご意見」への対応



ご意見箱・・・事務職員が回収



関係部署・関係診療科に照会



病院長の確認



回答



院内に掲示

\*院内掲示（3箇所）

\*病院ホームページに掲載

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/opinion.html>

\*必要に応じて患者様へ返書

## 本の紹介

### 「早く元気になーれ」 小児病棟の子どもたちの作品集

聖マリアンナ医科大学病院看護部編

医学書院

これは、聖マリアンナ医科大学病院小児外科病棟を退院した子どもたちの作文をまとめた小冊子です。

「子どもたちの気持ちをわかって看護したい」と思った新任看護師長の発案で、病棟保育士さんと協力して退院間近の子どもたちに渡された原稿用紙。作品を読んでいると、鉛筆を握って原稿用紙に向かって子どもたちの背中が目に見えるようです。飾り気のない言葉の数々は直球一本、入院生活への戸惑い、友達ができた喜び、手術への不安と緊張、回復の喜び、そして周囲の人たちへの感謝の気持ちがストレートに綴られています。またこの作品集に載せられた一文が絶筆になってしまった並木崇典君の生きる姿には胸が一杯になります。



同病院の陣田泰子看護部長（当時の病棟看護師長）は編集後記でこの作品集を、「子どもの力が表現された宝物」と表現しておられますが、彼らの『事実を受け止める力』、『人と関係を結び、ケアを受け止める力』、『人を思いやる力』が読み手の心に響く一冊です。

# 情報コーナー

西病棟から南病棟にかけて、情報コーナーを設置しています。患者様向けの医療情報の掲示、関連用具の展示を定期的に行っています。

## 5月の展示テーマ 『お薬・治験について』



## 患者図書室 リニューアルオープン！

患者図書室が、南病棟1階のエレベーターホールに移転オープンしました。開室時間を拡大し、明るい空間でゆっくりと利用していただけます。

利用時間 月・水・木曜…13時～15時  
火・金曜…10時～15時



## こころのケア

(Vol. 6)

副センター長 岡田 宏基



### ～ 男と女は同じ人種？ ～

今回は、男女の感情への気づきの違いについて考えてみましょう。男性は狩猟民族の名残で、闘争心を強く抱き、基本的に一匹狼であり同性は全てライバルで、自分の気持ちや感情を意識する習慣には極めて乏しいのです。最近では少し変わってきているかもしれませんが、「強くありたい」が男性の基本的構えなので、特に、辛い、寂しいといったネガティブな感情については、自分の「弱さ」を意識させるものとして、無意識に抑圧する傾向があります。これに対して女性は横のつながりを求める傾向が強く、その象徴が「井戸端会議」です。自分の体験や感情を誰かと共有したい、という気持ちが男性に比べると遙かに強いのです。男性も飲み屋で同僚とわいわい言って憂さ晴らしをしているのではないかと、思われるかもしれませんが、これは会社や上司などへの不満を言い合っている、すなわち共同戦線を張っているにすぎず、決して辛い気持ちを共有する、弱みを見せ合うというものではないのです。

よく「夫が自分の話をちっとも聞いてくれない」、という女性の嘆きを耳にしますが、このように、元々男性は感情面での気づきに乏しいため、他人（ここでは妻）の感情に共感することが大変難しいものと思われます。このような互いの特質を理解した上で、妻は夫に、疲れているところ申し訳ないけど、ちょっとだけ聞いてね、と短めにどうしても聞いて欲しいことを話し、夫は内容には答えなくても、そうか、大変だったな、と労りの言葉をかけて差し上げると、互いのコミュニケーションがうまく行くのではないのでしょうか。



医療・福祉・看護相談

～支援の窓から～



病気やケガをすることによって、様々な療養上の問題が生じます。例えば、「介護保険によるサービスを利用したい」「在宅で電動ベッドなどが欲しい」「一人暮らしで退院後の生活が不安」「病気のため働けないので収入がない」「利用できる福祉制度について知りたい」等のご相談を医師・看護師・ソーシャルワーカーがお受けしています。入院中の患者様が退院後も安心して療養生活を送れるよう、医療スタッフや、必要に応じて地域の関係機関・施設と連携をとりながら、患者様やご家族と共に考え支援しています。

また高額療養費などの医療保険制度、介護保険制度、障害者自立支援法などの福祉制度などを利用できる場合もあります。申請方法、利用の仕方などご相談下さい。

その他、心配なこと不安に思われることがありましたら、お気軽にご相談下さい。

受付時間	月～金	8時30分～17時15分
場所	総合患者支援センター 相談室（西病棟1階）	
スタッフ	岡田・前川・石橋・塚田	

認定看護師 紹介

がん化学療法認定看護師  
西本 仁美

私は現在外来化学療法室を中心に患者様のケアを行っています。外来では、身体的・精神的側面の問題に加え、社会生活を送っていく



上での問題を抱えながら治療を継続している患者様が多くいらっしゃいます。そのような患者様により良いケアを提供したいと、平成17年度から外来化学療法カンファレンスを立ち上げました。総合患者支援センターのMSWの方にも参加していただいています。今後もセンターのスタッフの皆様と力を合わせ、より質の高いチーム医療を提供していきたいと考えています。化学療法を受けられている患者様への情報提供、副作用対策など何かありましたらどうぞご相談下さい。

イベントのお知らせ

センター設立3周年記念講演会

日時：6月24日（土） 15時～17時30分  
場所：岡山大学医学部・歯学部附属病院  
歯学部棟4階1講義室

特別講演

「患者主役の地域医療連携を目指して

～ヘルスプロモーション理念を通じて～

愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター  
センター長 櫃本 真幸 先生

【報告】岡山大学病院の地域医療連携について



歯の衛生週間『元気な体は、元気な歯！』

日時：6月8日（木） 13時～  
場所：岡山大学医学部・歯学部附属病院

★ ミニ公開講座とお口の相談

「糖尿病と歯周病」 歯周科 西村英紀 先生

「コレステロールと歯周病」 予防歯科 友藤孝明 先生

「インプラントQ&A」 補綴科（クラウン・ブリッジ） 荒川光 先生

「脳卒中でうまくしゃべれない!?」 補綴科（咬合・義歯） 皆木省吾 先生

★ 歯科衛生士による体験ブラッシング

★ チェロとピアノの生演奏（ボランティア出演）

★ 子どもへのフッ素塗布 他

イベントのお問合せ先

086-235-6787（総合歯科 三浦）